

お知らせ

○次回定例活動日；6月22日（日）9時30分第2駐車場集合、主な活動メニューはニホンジカ頭数調査、食害調査、マダケ林・ホテイ岬の植生保護、植生調査、稀少種の保存状況調査と保護網補強など。小雨決行、雨具持参、森の踏査に相応しい安全な服装・帽子・履物でご参加下さい。

○豊英島さきのご報告書；「豊英島に産する大型菌類相とその特徴」（「千年の森・5年間の活動を振り返って資料編Ⅱ」）を添付します。この資料はさきのご班村野班長と中央博物館吹春俊光氏の3年がかりの力作で、豊英島の自生きのこの特徴がよくまとめられている興味深い貴重な資料です。ご活用下さい。なお資料編Ⅰ植物リストは現地での食害調査や植生調査参加者に配布します。

活動の記録

5月18日（日）晴

石井、鶴沢、大賀先生、甲斐、久我（哲）、坂本、高塚、高橋（忠）、長村、長谷川、福島、真鍋、村野、森、以上会員14名、日本熊森協会千葉支部のご一行12名様をお迎えし、新緑のすがすがしい森で、楽しく充実の一日でした。ヤマユリ保護柵及びマダケ林保護柵の改修、クロムヨウランなど稀少種の保護、食害調査にシイタケ本伏せなど、先送りできない急ぎの作業を全て完了しました。また遠路ご訪問下さった熊森協会の皆様に森と活動の様子を視察いただきました。



新緑の森に熊森協会のご一行様をお迎えして

○ヤマユリ保護柵の改修作業



3倍に拡張したヤマユリ保護柵

吊り橋から島に入ってすぐの表玄関にある、昨年春に設置したヤマユリ保護柵の改修作業を行った。作業内容は、これまで設置してあったシートを取り外し、既存の保護柵の範囲を拡大して、獣害防止ネットを使用した10m四方の保護柵を設置するというものである。獣害防止ネットを使用した植生保護柵の設置は、今回が4箇所目であり、みんな作業にも慣れ非常にスムーズに設置作業を終えることができた。保護柵内のヤマユリは大小含め17本。

今年はヤマユリの花が沢山見られることを期待したい。（福島記）

また06年と07年に設置したマダケ林保護柵の破損箇所を補修し、当分の間使用できるようにした。

○稀少種の保護

スタジイ林のクロムヨウラン3箇所3株、ギンラン1箇所3株、キンラン1株、ホテイ岬のサイハイラン1株、マダケ林脇のコ克蘭1箇所3株、景観管理林のツチアケビ1箇所4株を亀甲金網で90センチ高さの鳥かご状に囲い保護。保護したい植物は多い反面、準備した亀甲金網などの資材は少なく、鶴沢さんと大賀先生には特にご苦勞おかけしました。クロムヨウラン（千葉県重要保護植物：B）の夏の開花やツチアケビ（要保護植物：C）に沢山ぶら下がるウイナーソーソーシ状の実にご期待下さい。（真鍋記）



1株のキンランを金網で覆い

○食害調査

ニホンジカやノウサギによる植生への影響を明らかにするために第1回の食害調査を行った。調査方法は、食害が認められる場所に2m四方の調査区を設置し、その調査区内にある植物を食害の程度とともに記録するという方法。今回は巨木林区域にNo.1, 2, コナラ林区域にNo.3の3調査区を設置した。

植物の調査はまるで植物観察会のように、大賀先生を中心に全員参加で大変熱心に、また和やかに行うことができた。



食害調査は賑やかに和やかに

No.1ではコナラ、アセビ、サルトリイバラなど36種が確認され、モミジイチゴに新しい食痕とイヌツゲに古い食痕が認められた。No.2ではヒイラギ、ヤブニッケイ、ミヤマシキミなど24種が確認され、ジャンヒゲに新しい食痕とイヌガヤ、アオキ、イヌツゲに古い食痕が認められた。No.3ではコナラ、アラカシ、クロモジなど27種が確認され、イヌザンショウ、ヤブムラサキ、オオバノトンボソウ、ツクバナウツギに新しい食痕とアラカシに古い食痕を確認。今後は、定期的に同じ調査区において食害の状況を調査していく予定である。(福島記)

○シイタケ本伏せ

今年2月に植菌して仮伏せをしていたホダ木を移設し、直ぐ近くのカシの木の下にムカデ伏せにしました(2列)。Lot No: S0801, S0802 多くの方々のご協力で短時間でスムーズに作業が出来ました。(久我記)

○トビの営巣観察

今年もトビが営巣しました。例年より1ヶ月遅れの営巣です。

4月30日巣が整備されていることを確認。5月5日親鳥が巣に来ていることを確認。

5月18日親鳥による抱卵を確認。卵は例年と同じ2個。親鳥は人が近づく気配ですぐに巣を離れます。とても神経質です。2羽の巣立ちを願って、静かに見守っていきたいと思います。(高橋記)

新緑のすがすがしい好天候に恵まれ、賑やかに楽しく働き、充実した有意義な活動日でした。参加会員の皆様、遅くまでお疲れ様でした。大賀先生には率先して稀少種の保護作業や食害調査にご活躍、お客様へのアドバイスもいただきました。有難うございました。

県内に数多い里山団体の中から「千年の森」を選んでご来訪下さった、熊森協会の皆様、遠路ご苦労様でした。一日がかりのご訪問に、何か少しでも成果があれば幸いです。大山支部長に丁寧なメッセージをいただきましたので、掲載させていただきます。

ありがとうございました

先日は、お忙しい所にお伺いしたにも関わらず、みなさま温かく迎えていただきありがとうございました。森の中は、いつも吸っている空気とは違いとてもおいしかったですね。吊り橋を普通に渡っただけなのに、鳶の巣があり、驚きました。また、みなさまの明るい笑顔、とても楽しそうにのびのび作業をされていたお姿はとても印象的でした。また、熊森協会にも興味を持っていただき、いろいろなご意見、ご要望までいただき、とても勉強になりました。



お互い、次世代に豊かな森を残したい！動物と植物の共存！など、思いは同じですね。お身体に気をつけて、素晴らしい活動、頑張ってくださいませ。ありがとうございました。これからも、よろしくお願いたします。

日本熊森協会千葉県支部長 大山久美